

5年 ボール運動 ゴール型「タグラグビー」

～ドリームチーム・ドリームゲーム～

令和元年12月13日(金)

5年2組

39名

指導者 本間 大介

1. 単元について

高学年のボール運動ゴール型では、ルールや作戦を工夫したり、仲間と力を合わせて競い合ったりする楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、ボール操作とボールを持たないときの動きによって簡易化されたゲームをすることができるようにし、中学校の球技の学習につなげていくことが求められている。本単元で取り組む、陣地を取り合うゴール型「タグラグビー」は、ボールを持ったままコート内を自由に走れることや、インゴールに入ることによって得点を取ることができるなど、ボール操作が容易である。それによりチームで工夫した作戦を実行し易いという特性がある。また、守る側は攻撃側が腰に付けたタグを取るによって前進を止めることができるなど、守り方が具体的で分かり易いことや、タックルなどの身体接触を一切しないことから誰もが安心して取り組むことができることも特性の一つである。

1学期に行ったマット運動や跳び箱運動では、児童がそれぞれの技能に合わせた場を選んで練習することで、声をかけ合ったりアドバイスし合ったりする場面が見られた。また、伸びたところ、できたことを積極的に価値付けたことで、苦手だった子が意欲的に取り組むようになり、技能面でも伸びが見られた。これらの経験から、仲間と運動するよさを味わい、伸びの実感を自信につなげることができるようになってきたと考えられる。2学期に行ったサッカーでは、ボールを足で操作するという技能面に加え、ボールを持たないときに「相手のいないところに動いてフリーになる」という動きにも大きな課題があった。フリーになることよきの知識はあったものの、実際に動きとして表現できる子は少なく、ゲームとしては、得意な子のプレーや偶発的に起こるラッキープレーが得点につながるが多かった。つまり、ボールを持たないときの動きを工夫することで、パスが繋がったり得点できたりする経験や、自分がチームの一人としてゲームに参加しているという実感を得られていない子が多いと考えられる。

そこで、本単元で取り組むタグラグビーでは、自分から積極的に運動に関わることができるように、繰り返しゲームに浸りながらチームの一人として参加する楽しさを味わったり、チームで考えた作戦をゲームの中で表現したりしようとする姿を目指す。

2. 研究の内容

視点1 課題意識を軸に、子どもの目標達成を 明らかにした教材化と単元構成

単元前半のゲームは3対2のアウトナンバーで行う。攻撃側を数的優位にすることでボールを持って前に走り、守りを突破できるという経験を積む。しかし、ゲームの回数を重ねる中で、タグを取られて前進を止められる場面が多くなる。そこで、タグを取られた後にパスをつないでトライしているチームの映像を提示することで、「どのようにフォローすればパスが繋がるか」という課題意識を生み出す。そして、よい動きを「ナイスフォロー」として共有し、イメージをもてるようにする。

単元後半は3対3のイーブンナンバーでゲームを行う。本時では、これまで記録してきたチームの攻め方やトライ数を3対2と3対3のゲームで比較することで、「もっとチームでフォローの仕方考えたい」という課題意識を生む。フォローを中心の攻め方やトライ数が増えていくことを目標達成の具体的な姿とする。

10回ずつのセットゲームを3セット行うことで、実際のゲームの中で運動しながら何度も試したり考えたりできる機会を多く確保する。また、攻撃ごとにスタートのボールマンをローテーションし、ボールを持ってインゴールに向かって走るというタグラグビーの楽しさを誰もが経験できるようにする。

視点2 子どもが学び続けるための指導方法や 評価方法の工夫

よりよい動きを求めて子どもが学び続けるための指導の工夫として、単元を通してスタッツシートを活用し、得点や攻め方についての記録を取っていく。始めは得点を中心に記録することで、トライできた成功体験に焦点を当てる。動きが高まってきたところで、走って突破する以外にも動きの工夫ができることに気付けるようフォローの仕方も記録し、ナイスフォローの回数が増えるように動きを価値付け、指導する。3対3のゲームでもデータを取り続け、蓄積したデータを基に本時では、3対2のゲームと3対3のゲームを比較することで、よりフォローの重要性に気づき、チームで作戦を考える意識をもてるようにする。

ゲームとゲームの間にチームタイムを設けることにより、今行われたゲームのスタッツシートから選んだ作戦がどれくらい実行できているかを実感できるようにする。それを基に、よくなってきたところを確認したり、次のゲームではもっとこうしたいという改善点について話合ったりすることで、チームに合わせた具体的な指導ができるようにする。

ゲームを通して、チームで選んだ作戦が高まっていく様子を観察したり、学習後にチームカードに記述したりすることで評価し、指導に生かしていく。

3. 本時の展開 (5/6)

本時の目標

- (1) ボールを持たないときの動きを工夫してフォローすることができるようにする。【知識及び技能】
- (2) トライするために、チームで作戦を選んで攻め方を工夫できるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 動きを見合ったり、話合ったりして仲間の考えを認められるようにする。【学びに向かう力、人間性等】

学習活動と子どもの姿	教師の手だて																																																							
<p>ボールを持ったら前に走ることやトライにつながるフォローの仕方を学び、チームで攻め方を工夫するよさに気付いている。3対3になったことでランのみでのトライが難しくなったことに気付き始めている。</p> <p>○準備活動 ○課題を見付ける活動 ・得点率とランによる突破回数を3対2と3対3で比較し課題を見いだす。</p> <p>スペースが減ったから一人で守りを突破するのはむずかしくなったよ。</p> <p>フォローをしっかりとしないとトライにつながらないね。</p> <p>フォローの仕方についてチームで作戦を考えたいな。</p>	<p>【課題を見いだすための手だて】 ○3対2と3対3のゲームの得点率とランによる突破回数を比較させることで、得点を増やすためにはチームでフォローの作戦を考える必要があることに気付けるようにする。</p> <p>○チームタイムでは、話合うだけでなく体を動かしながら作戦を決めることができるようにする。</p> <p>○ゲームとチームタイムを繰り返すことで、作戦を振り返ったり次のゲームに生かしたりできるようにする。</p> <p>○スタッツシートを基に、ナイスフォローでトライにつながった動きを価値付け、自信を得られるようにするとともに、どのように考えて動いたのかを問うことで、よい動きを自覚できるようにする。</p>																																																							
<p>どのようにフォローすればトライできるかな。</p>																																																								
<p>○課題を追究する活動 ・チームタイムと3対3のゲームを3セット行う</p>																																																								
<p>チームの作戦</p>																																																								
<p>すぐフォロー</p>	<p>スペースを使って</p>	<p>フォロー＆ゴー</p>																																																						
<p>すぐにフォローして守りを突破しよう。</p>	<p>ランで引きつけてきたスペースでフォローしよう。</p>	<p>フォローの後、スペースに走り込もう。</p>																																																						
<p>もっとボールマンについていこう。</p>	<p>守りを引きつけるように走ろう。</p>	<p>フォローしたらすぐに走り出そう。</p>																																																						
<p>三角形になってどちらもフォローできるようにしよう。</p>	<p>守りがいないところに素早く移動しよう。</p>	<p>走れるスペースを素早く見付けよう。</p>																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20%;">引継ぎ</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>突破</td><td colspan="2"></td></tr> <tr style="background-color: #ADD8E6;"><td colspan="3" style="text-align: center;">フォロー</td></tr> <tr><td>すぐ</td><td style="text-align: center;">(すぐ)</td><td style="text-align: center;">(すぐ)</td></tr> <tr><td>スペース</td><td>スペース</td><td>スペース</td></tr> <tr><td>フォロー＆ゴー</td><td>フォロー＆ゴー</td><td>フォロー＆ゴー</td></tr> </table>	引継ぎ			突破			フォロー			すぐ	(すぐ)	(すぐ)	スペース	スペース	スペース	フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20%;">引継ぎ</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>突破</td><td colspan="2"></td></tr> <tr style="background-color: #ADD8E6;"><td colspan="3" style="text-align: center;">フォロー</td></tr> <tr><td>すぐ</td><td>すぐ</td><td>すぐ</td></tr> <tr><td>スペース</td><td style="text-align: center;">(スペース)</td><td>スペース</td></tr> <tr><td>フォロー＆ゴー</td><td>フォロー＆ゴー</td><td>フォロー＆ゴー</td></tr> </table>	引継ぎ			突破			フォロー			すぐ	すぐ	すぐ	スペース	(スペース)	スペース	フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20%;">引継ぎ</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>突破</td><td colspan="2"></td></tr> <tr style="background-color: #ADD8E6;"><td colspan="3" style="text-align: center;">フォロー</td></tr> <tr><td>すぐ</td><td>すぐ</td><td style="text-align: center;">(すぐ)</td></tr> <tr><td>スペース</td><td>スペース</td><td>スペース</td></tr> <tr><td>フォロー＆ゴー</td><td>フォロー＆ゴー</td><td>フォロー＆ゴー</td></tr> </table>	引継ぎ			突破			フォロー			すぐ	すぐ	(すぐ)	スペース	スペース	スペース	フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー
引継ぎ																																																								
突破																																																								
フォロー																																																								
すぐ	(すぐ)	(すぐ)																																																						
スペース	スペース	スペース																																																						
フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー																																																						
引継ぎ																																																								
突破																																																								
フォロー																																																								
すぐ	すぐ	すぐ																																																						
スペース	(スペース)	スペース																																																						
フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー																																																						
引継ぎ																																																								
突破																																																								
フォロー																																																								
すぐ	すぐ	(すぐ)																																																						
スペース	スペース	スペース																																																						
フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー	フォロー＆ゴー																																																						
○全体交流																																																								
<p>すぐにパスがつながるように、フォローの場所を意識するとフリーになることができました。</p>	<p>守備を引きつけたらフリーでフォローできて、トライすることができましたよ。</p>	<p>フォローの後にフリーになれるスペースを見付けて、走り込んだらトライできたね。</p>																																																						
<p>チームでフォローの仕方を考えるとトライができるね。</p>																																																								
○振り返り																																																								
○整理運動																																																								
		<p>【思・判・表】 フリーをつくってトライするためにフォローの仕方を工夫している。 〈評価方法〉 スタッツシートの記録をもとにチームで話合う活動を通して、作戦を選んでいる。 (行動観察・シート)</p>																																																						

4. 指導と評価の計画 (簡易単元構造図)

小学校3年 単元名 健康な生活 (4時間) 指導と評価の計画 (簡易単元構造図)

単元目標		健康な生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解することができるようにする。	
思考力、判断力、表現力等		健康な生活について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにする。	
学びに向かう力、人間性等		健康な生活について、健康の大切さに気付き、自己の健康保持増進に進んで取り組もうとすることができるようにする。	
知識・技能		思考・判断・表現	
単元の評価規準	①健康の状態には、心や体の調子がよい状態があることや1日の生活の仕方などの主体的な要因や身の回りの環境の要因が関わっていることについて、理解したことを言ったり、書いてしる。 ②健康の保持増進には、1日の生活のリズムに合わせて、運動、食事、休養及び睡眠や手足、衣服などの清潔を保つことが必要であることについて、理解したことを言ったり、書いてしる。 ③健康の保持増進には、部屋の明るさの調整や換気などの生活環境を整えることが必要であることについて、理解したことを言ったり、書いてしる。	①健康な生活について、1日の生活の仕方などの主体的な要因や身の回りの環境の要因から健康に関わる生活の仕方から課題を見付けている。 ②健康な生活について、自分の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、健康に過ごすために考えた方法をワークシートに書いて、発表したりして友達に伝えている。	主体的に学習に取り組む態度 ①健康な生活について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や教科書や資料を調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に取り組もうとしている。
時間	1	2 (本時)	3
目標	○健康には、食事、運動、休養及び睡眠、身の回りの生活の仕方が深く関わっていることを理解できることにも、健康に過ごすためのアドバイスを考え、伝えることができるようにする。 健康レンジャーになるために、健康スイッチを押そう。 ○健康について総合的な学習の時間で学習したことを想起する。 ○保健室の来室カードからじゅんこちゃんの状態が悪くなった原因を予想する。 [じゅんこちゃん健康に過ごすためには、どんな生活をしたらよいのかな。] ○生活時間表を見て、アドバイスを考える。 ●生活時間表から健康に過ごすためのアドバイスをワークシートに記入していく。 ○全体交流 ○健康に過ごすためには、運動、食事、睡眠・休養のスイッチが大切だということに気付く。 ○栄養教諭と養護教諭から健康スイッチについての話を聞く。	○生活時間表を見直す活動を通して、毎日の生活の仕方が関係していることに気付き、自分の生活の仕方を考えることができるようにする。 ○健康レンジャーに必要な健康スイッチ3つを想起する。 ○保健室の来室カードからアドバイスをもらって過ごしたじゅんこちゃんに元気がないことを知る。 健康スイッチを押したのに、元気がないのはどうしてかな。 ○生活時間表を見て、アドバイスを考える。 ●生活時間表から健康に過ごすためのアドバイスをワークシートに記入していく。 ○全体交流 ○健康レンジャーになるためには、毎日リズムのよい生活を送ることが大切だということに気付く。 ○自分の生活と関連付け、振り返る。 [自分の健康スイッチはどこかな。] ●健康スイッチを押せている根拠や健康スイッチを押すための修正を考えワークシートに記入する。 ●振り返り	○健康には、体を清潔にすることや、衣服やハンカチなど、清潔なものを身に着けることが必要であることを理解できるようにする。 ○清潔という言葉からどんな状態なのかを考えらる。 健康レンジャーになるために、清潔スイッチを押そう。 ○じゅんこちゃんの手洗いの様子と手洗い実験の結果を見る。 ○正しく行っているように見えた手洗いでも洗い残しがあることを知ること、自分の手洗いの仕方について振り返る。 [自分の手洗いは、汚れが落ちているのかな。] ○手洗実験を行う。 ●洗い残しがあった箇所はワークシートに色を塗る。 ○海外でユニセフが日本の手洗いを励行し、死亡率が減少した記事を紹介する。 ○体や衣服などを清潔に保つことと健康とのつながりについて気付く。
学習の流れ	○生活時間表を見て、アドバイスを考える。 ●生活時間表から健康に過ごすためのアドバイスをワークシートに記入していく。 ○全体交流 ○健康に過ごすためには、運動、食事、睡眠・休養のスイッチが大切だということに気付く。 ○栄養教諭と養護教諭から健康スイッチについての話を聞く。	○健康レンジャーになるために、健康には、空気が明るさなどの身の回りの環境が深くかわかっていて、健康に過ごすことができるようにする。 ○健康レンジャーになるための健康スイッチを想起する。 健康レンジャーになるために、環境スイッチを押そう。 ○じゅんこちゃんの健康によくない生活環境を提示することで、どのように環境を整えていくと健康になるのかアドバイスを考える。 ●ワークシートに健康で気持ちよく過ごすためのアドバイスを記入する。 ○照度計を使用し、部屋の照度を図る実験を行いながら健康な生活を過ごすために周囲の環境を整えることが大切さであることを知る。 ○教科書から部屋の空気の入れ換えが大切な理由を知る。 ○部屋の空気や明るさなどの身の回りの環境を整えることも健康で過ごすために必要だと気付く。	●振り返り ②観察・学習カード (授業後) ③観察・学習カード
評価	①観察・学習カード ①観察・学習カード	②観察・学習カード (授業後) ●振り返り	●振り返り ③観察・学習カード ①観察

※「主体的に学習に取り組む態度」については、単元全体で評価していくため、破線で示している。

※「知識・技能」、「思・判・表」については、各授業後や単元終了後にワークシートやノートの記載等からも評価することも評価の信頼性を高めることができる。

